

令和5年度

国立大学附属学校園の実態調査

〈基本調査〉

日本教育大学協会企画・調査研究委員会  
国立大学附属学校の在り方検討ワーキンググループ

令和6年1月

I-1 基本調査

1 附属学校園を有する会員、および附属学校園の規模(令和5年5月1日現在)

合計： 54大学・学部、252附属学校園

※教員数は、学校基本調査における「本務者」の定義に基づく専任の教員数

地区	大学・学部名			幼稚園			小学校			中学校			高等学校			特別支援学校					
	幼稚園	園児数	学級数	教員数	小学校	児童数	学級数	教員数	中学校	生徒数	学級数	教員数	高等学校	生徒数	学級数	教員数	特別支援学校	園児・児童・生徒数	学級数	教員数	
北海道	北海道教育大学																				
	附属旭川幼稚園	67	3	6	附属札幌小学校 (特別支援学級3クラス11名含む)	424	15	22	附属札幌中学校 (特別支援学級3クラス17名含む)	339	12	23					附属特別支援学校 (小学部3クラス18名、 中学部3クラス18名、 高等部3クラス23名)	59	9	29	
	附属函館幼稚園	39	3	4	附属旭川小学校	395	12	18	附属旭川中学校	308	9	18									
東北	弘前大学教育学部																				
	附属幼稚園	41	4	6	附属小学校	473	18	30	附属中学校	379	12	30					附属特別支援学校	52	9	30	
	岩手大学教育学部																				
	附属幼稚園	53	3	11	附属小学校 (複式学級3クラス含む)	595	21	29	附属中学校	415	12	24					附属特別支援学校	52	9	28	
	宮城教育大学																				
	附属幼稚園	123	5	8	附属小学校	712	24	36	附属中学校	474	12	23					附属特別支援学校	59	9	33	
	秋田大学教育文化学部																				
	附属幼稚園	65	4	7	附属小学校	556	18	27	附属中学校	382	12	23					附属特別支援学校	56	9	27	
	山形大学																				
	附属幼稚園	70	3	6	附属小学校	584	18	27	附属中学校	401	12	23					附属特別支援学校	51	9	31	
福島大学																					
附属幼稚園	68	3	4	附属小学校	616	20	30	附属中学校	418	12	23					附属特別支援学校	57	9	29		
関東	茨城大学教育学部																				
	附属幼稚園	114	5	7	附属小学校 (複式学級2クラス含む)	610	19	29	附属中学校	429	12	21					附属特別支援学校 (複式学級2クラス含む)	50	10	29	
	筑波大学																				
					附属小学校	756	24	37	附属中学校	611	15	31	附属高等学校	708	18	47	附属視覚特別支援学校	162	35	91	
									附属駒場中学校	367	9	16	附属駒場高等学校	487	12	29	附属聴覚特別支援学校	187	39	81	
													附属坂戸高等学校	470	12	44	附属大塚特別支援学校	69	13	36	
																	附属桐が丘特別支援学校	120	26	68	
																	附属久里浜特別支援学校	52	18	34	
	宇都宮大学共同教育学部																				
	附属幼稚園	143	5	7	附属小学校	611	18	25	附属中学校	430	12	23					附属特別支援学校 (小学部3クラス18名、教員数9名、 中学部3クラス18名、教員数9名、 高等部3クラス24名、教員数9名)	60	9	27	
群馬大学共同教育学部																					
附属幼稚園	132	6	10	附属小学校	601	18	25	附属中学校	406	12	25					附属特別支援学校	52	9	34		
埼玉大学教育学部																					
附属幼稚園	79	3	5	附属小学校	623	18	27	附属中学校	431	12	28					附属特別支援学校	57	9	31		
千葉大学教育学部																					
附属幼稚園	139	5	7	附属小学校 (帰国児童学級3クラス19名含む)	637	21	35	附属中学校 (帰国生徒29名含む)	449	12	29					附属特別支援学校	61	9	26		
東京大学教育学部																					

地区	大学・学部名																			
	幼稚園	園児数 学級数 教員数			小学校	児童数 学級数 教員数			中学校	生徒数 学級数 教員数			高等学校	生徒数 学級数 教員数			特別支援学校	園児・児童・学級数 教員数 生徒数		
関東	東京学芸大学																			
	附属幼稚園小井園舎	145	6	9	附属世田谷小学校	611	18	27	附属世田谷中学校	414	12	24	附属高等学校	953	24	56	附属特別支援学校	69	11	35
	附属幼稚園竹早園舎	59	2	4	附属小金井小学校	619	18	26	附属小金井中学校	419	12	22								
					附属大泉小学校 (帰国クラス3年～6年各1含む)	571	22	36	附属竹早中学校	423	12	22								
					附属竹早小学校	409	12	19												
	東京藝術大学音楽学部																			
													附属音楽高等学校	110	3	13				
	お茶の水女子大学																			
	附属幼稚園	158	6	9	附属小学校 (帰国児童教育学級3クラス含む)	627	21	30	附属中学校 (帰国生徒教育学級3クラス含む)	324	12	25	附属高等学校	366	9	23				
	横浜国立大学教育学部																			
				附属鎌倉小学校	620	18	25	附属鎌倉中学校	431	12	24					附属特別支援学校	62	9	29	
				附属横浜小学校	631	18	28	附属横浜中学校	357	9	20									
山梨大学教育学部																				
附属幼稚園	70	4	6	附属小学校	616	18	27	附属中学校	428	12	23					附属特別支援学校	59	9	30	
新潟大学																				
附属幼稚園	54	3	5	附属新潟小学校	452	15	25	附属新潟中学校	358	9	18					附属特別支援学校	64	9	30	
				附属長岡小学校	404	12	20	附属長岡中学校	356	9	18									
上越教育大学																				
附属幼稚園	45	3	5	附属小学校	415	12	19	附属中学校	325	9	18									
富山大学教育学部																				
附属幼稚園	78	5	7	附属小学校	415	12	20	附属中学校	475	12	23					附属特別支援学校	57	9	30	
北陸																				
金沢大学人間社会学域学校教育学類																				
附属幼稚園	88	4	7	附属小学校 (日本語適応教室「さくら」1学級を含む)	621	21	28	附属中学校	476	12	23	附属高等学校	365	9	24	附属特別支援学校	59	9	30	
福井大学教育学部																				
附属幼稚園	111	6	8													附属特別支援学校	55	9	30	
信州大学教育学部																				
附属幼稚園	88	4	10	附属長野小学校	438	12	19	附属長野中学校	612	15	29					附属特別支援学校	58	9	30	
				附属松本小学校	427	12	18	附属松本中学校	463	12	23									
岐阜大学教育学部																				
静岡大学教育学部																				
附属幼稚園	79	5	8	附属静岡小学校	604	18	26	附属静岡中学校	428	12	21					附属特別支援学校	59	9	29	
				附属浜松小学校	410	12	18	附属浜松中学校	322	9	18									
								附属島田中学校	322	9	18									
東海																				
愛知教育大学																				
附属幼稚園	140	6	10	附属名古屋小学校 (帰国児童学級2クラス10名含む)	546	20	34	附属名古屋中学校 (帰国生徒学級3クラス39名含む)	463	15	31	附属高等学校	355	12	30	附属特別支援学校	58	9	30	
				附属岡崎小学校	548	18	26	附属岡崎中学校	434	12	26									
三重大学教育学部																				
附属幼稚園	76	4	7	附属小学校	586	18	26	附属中学校	425	12	26					附属特別支援学校	51	9	29	

地区	大学・学部名																				
	幼稚園	園児数	学級数	教員数	小学校	児童数	学級数	教員数	中学校	生徒数	学級数	教員数	高等学校	生徒数	学級数	教員数	特別支援学校	園児・児童・生徒数	学級数	教員数	
近畿	滋賀大学教育学部																				
	附属幼稚園	110	5	9	附属小学校	621	18	27	附属中学校	319	9	19					附属特別支援学校	57	9	30	
	京都教育大学																				
	附属幼稚園	96	3	7	附属桃山小学校	418	12	20	附属桃山中学校 (帰国生徒教育学級3クラス含む)	396	12	26	附属高等学校	440	12	31	附属特別支援学校	62	9	32	
	大阪教育大学																				
	附属幼稚園	144	6	9	附属天王寺小学校	628	18	22	附属天王寺中学校	432	12	22	附属高等学校	1273	33	82	附属特別支援学校	57	9	29	
					附属池田小学校	599	18	26	附属池田中学校	434	12	22									
					附属平野小学校	627	18	26	附属平野中学校	323	9	19									
	兵庫教育大学																				
	附属幼稚園	68	6	8	附属小学校	449	18	29	附属中学校	273	9	21									
神戸大学																					
附属幼稚園	116	6	9	附属小学校	409	12	22										附属特別支援学校	50	9	34	
奈良教育大学																					
附属幼稚園	92	5	8	附属小学校 (特別支援学級3クラス含む)	540	21	35	附属中学校 (特別支援学級3クラス含む)	406	15	30										
奈良女子大学																					
附属幼稚園	130	6	8	附属小学校	406	12	18														
和歌山大学教育学部																					
				附属小学校 (複式学級3クラス含む)	424	16	25	附属中学校	420	12	23						附属特別支援学校	58	9	31	
中国	鳥取大学																				
	附属幼稚園	27	3	6	附属小学校	385	12	18	附属中学校	414	12	23						附属特別支援学校	57	10	29
	島根大学教育学部																				
	附属幼稚園	48	2	7																	
	岡山大学教育学部																				
	附属幼稚園	127	6	9	附属小学校	606	18	32	附属中学校	536	15	33						附属特別支援学校	57	9	29
	広島大学																				
	附属幼稚園	62	3	5	附属小学校	380	12	20	附属中学校	363	9	19	附属高等学校	598	15	40					
	附属三原幼稚園	62	3	6	附属東雲小学校 (特別支援学級3クラス9名含む)	430	18	27	附属東雲中学校 (特別支援学級3クラス14名含む)	252	9	19	附属福山高等学校	604	15	40					
					附属三原小学校	375	12	21	附属三原中学校	232	6	13									
								附属福山中学校	368	9	19										
山口大学教育学部																					
附属幼稚園	75	4	7	附属山口小学校	412	12	18	附属山口中学校	416	12	25						附属特別支援学校 (小学部3クラス6名、教員5名、 中学部3クラス15名、教員10名、 高等部3クラス19名、教員11名)	40	9	26	
				附属光小学校	361	12	18	附属光中学校	230	9	16										

地区	大学・学部名										園児・児童・生徒数	学級数	教員数							
	幼稚園	園児数	学級数	教員数	小学校	児童数	学級数	教員数	中学校	生徒数				学級数	教員数	高等学校	生徒数	学級数	教員数	特別支援学校
四国	鳴門教育大学																			
	附属幼稚園	130	5	7	附属小学校	593	18	29	附属中学校	397	12	28					附属特別支援学校	60	9	31
	香川大学教育学部																			
	附属幼稚園	71	3	5	附属高松小学校	617	19	25	附属高松中学校	314	9	20					附属特別支援学校	58	9	29
	附属幼稚園高松園舎	47	2	2	附属坂出小学校	416	12	18	附属坂出中学校	315	9	19								
	愛媛大学教育学部																			
	附属幼稚園	106	6	9	附属小学校	560	18	28	附属中学校	384	12	23	附属高等学校	363	9	36	附属特別支援学校	58	9	28
	高知大学教育学部																			
	附属幼稚園	85	5	6	附属小学校	633	21	31	附属中学校	413	12	25					附属特別支援学校 (小学部3クラス18名、教員7名、 中学部3クラス18名、教員8名、 高等部3クラス24名、教員15名、 ※高等部に副校長、養護教諭を含む)	60	9	30
	福岡教育大学																			
附属幼稚園	41	3	6	附属福岡小学校 (特別支援学級3クラス、 帰国子女学級3クラス含む)	447	18	26	附属福岡中学校 (特別支援学級3クラス含む)	365	12	21									
				附属小倉小学校	416	12	18	附属小倉中学校	360	9	17									
				附属久留米小学校	420	12	18	附属久留米中学校	358	9	17									
九州	佐賀大学教育学部																			
	附属幼稚園	57	3	5	附属小学校	616	18	25	附属中学校	429	12	24					附属特別支援学校	55	9	30
	長崎大学教育学部																			
	附属幼稚園	79	4	7	附属小学校	546	21	30	附属中学校	429	12	26					附属特別支援学校 (小学部3クラス17名、教員8名、 中等部3クラス16名、教員7名、 高等部3クラス19名、教員9名、 校長、教頭、養護教諭 計3名)	52	9	27
	熊本大学教育学部																			
	附属幼稚園	115	5	6	附属小学校	641	18	24	附属中学校	474	12	22					附属特別支援学校	59	9	29
	大分大学教育学部																			
	附属幼稚園	128	5	8	附属小学校	612	18	26	附属中学校	478	12	24					附属特別支援学校	52	9	30
	宮崎大学教育学部																			
	附属幼稚園	96	5	7	附属小学校 (特別支援学級3クラス含む)	595	21	30	附属中学校 (特別支援学級3クラス含む)	476	15	28								
鹿児島大学教育学部																				
附属幼稚園	54	3	5	附属小学校 (複式学級3クラス含む)	763	24	35	附属中学校	538	15	32					附属特別支援学校	58	9	30	
琉球大学教育学部																				
				附属小学校	619	20	29	附属中学校	427	12	24									

その他（一貫校など）

大学・学部名	児童・生徒数	学級数	教員数	
北海道教育大学	附属釧路義務教育学校	549	21	37
東京大学教育学部	附属中等教育学校	714	18	41
東京学芸大学	附属国際中等教育学校	718	24	65
福井大学教育学部	附属義務教育学校	708	21	39
岐阜大学教育学部	附属小中学校（特別支援学級6クラス32名、教員8名含む）	935	33	56
京都教育大学	附属京都小中学校（特別支援学級6クラス含む） (内訳) 前期課程 586名 21クラス 後期課程 288名 12クラス	874	33	55
神戸大学	附属中等教育学校	705	18	47
奈良女子大学	附属中等教育学校	725	18	43
島根大学教育学部	附属義務教育学校 (内訳) 前期課程 355名 12クラス 教員20名 後期課程 352名 12クラス 教員26名	707	24	46

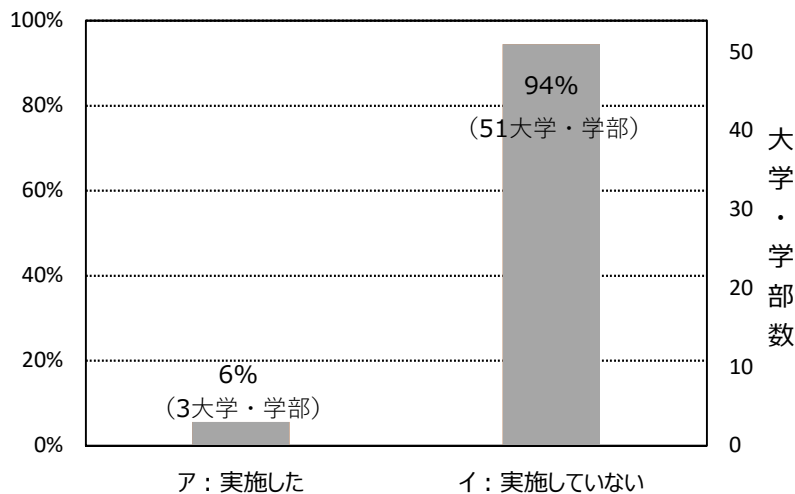
附属学校園数内訳

附属幼稚園	51
附属小学校	67
附属中学校	67
附属高校	13
附属特別支援学校	45
一貫校など	9
合計（附属学校園数）	252

## 2 附属学校園の組織の縮小または削減の実施（令和5年度）

### 組織の縮小または削減の実施（令和5年度）

（54大学・学部を100%とする）



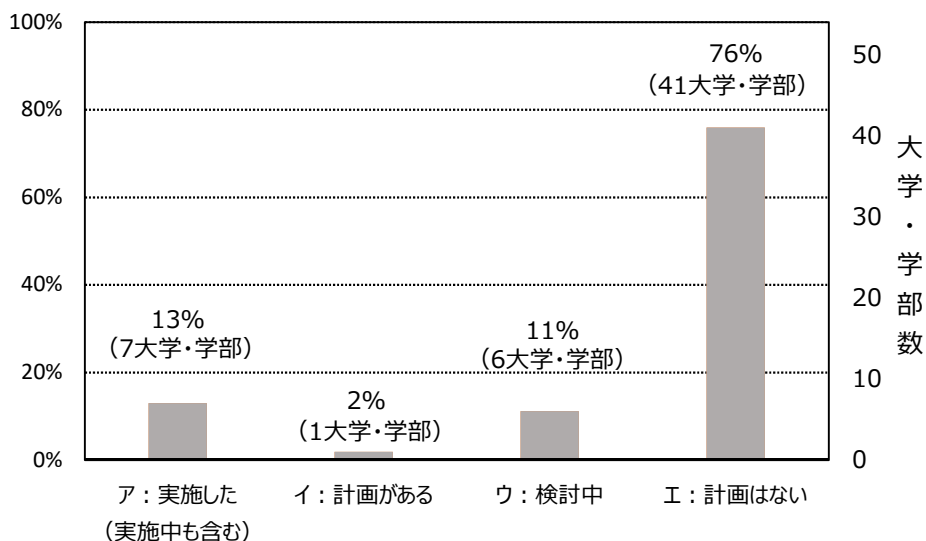
ア：実施した3大学・学部、及びその内容と理由

大学：学部名		
附属学校園名	縮小等の内容	理由
岩手大学教育学部		
附属幼稚園	4歳児学級を1学級削減した。また、学年進行により次年度（令和6年度）は5歳児学級を1学級削減する。	教育実習機能の縮小、県内公立幼稚園の学級数及び児童数の状況、並びに近年の本園入園者数の減少状況を踏まえ再編を実施。
山形大学		
附属幼稚園	3歳児2学級を1学級減らし、各学年1学級ずつの計3学級とした。	山形大学附属校園全体の組織改革を図る中で、園児の在籍数の見直しを図り、3歳児について17名ずつの2学級から24名の1学級とした。
附属小学校	3・4年複式1学級を閉級し、各学年3学級ずつの計18学級とした。	県内の公立学校では少子化により統廃合が進んでおり、今後は複式学級に対する教育的ニーズが低くなることが考えられるため。
筑波大学		
附属視覚特別支援学校	高等部専攻科音楽科の廃科（令和6年度）に伴う募集停止 高等部専攻科鍼灸手技療法研修科の廃科	近年の少子化、障害の重度・重複化、インクルーシブ教育システムの進展による障害者の高等教育機関への進学増加などの要因により、定員割れが生じていたため。
附属聴覚特別支援学校	高等部専攻科歯科技工科の廃科（令和7年度）に伴う募集停止	近年の少子化、障害の重度・重複化、インクルーシブ教育システムの進展による障害者の高等教育機関への進学増加などの要因により、定員割れが生じていたため。

## I-2 統廃合、学級数・学級定員数の検討

### 1 法人化後の附属学校園の統廃合の実施

法人化後の附属学校園の統廃合の実施



ア：実施した（実施中も含む）7大学・学部、及びその内容

北海道教育大学	<p>&lt;義務教育学校&gt; 令和3年度より、附属釧路小学校と附属釧路中学校を、附属釧路義務教育学校に改組した。 (令和3年度～)</p>
東京学芸大学	<p>&lt;中等教育学校&gt; 附属大泉中学校と附属高等学校大泉校舎を統合し附属国際中等教育学校とした。 (平成19年度～)</p>
福井大学教育学部	<p>&lt;義務教育学校&gt; 附属小学校及び附属中学校は、附属義務教育学校へ移行したため、学校数が2から1に変更となった。 (平成29年度～)</p>
岐阜大学教育学部	<p>&lt;義務教育学校&gt; 令和2年度から附属小学校と附属中学校を義務教育学校化し附属小中学校とした。 (令和2年度～)</p>
京都教育大学	<p>&lt;義務教育学校&gt; 附属京都小学校及び附属京都中学校は、義務教育学校（学校名：附属京都小中学校）へ移行したため、学校数が2から1に変更となった。 ただし、学級数や教員数等の縮小等はない。 (平成29年度～)</p>
神戸大学	<p>&lt;中等教育学校&gt; 学部附属であった幼稚園1園、小学校2校、中学校2校及び特別支援学校1校を、大学附属の幼稚園1園、小学校1校、中等教育学校新規1校及び特別支援学校1校に再編。 (平成21年度～)</p>

島根大学教育学部	<p>&lt;義務教育学校&gt;          附属小学校及び附属中学校を統合し、附属義務教育学校を開校した。          (令和元年度～)</p>
----------	--

イ：計画がある1大学・学部、及びその内容

北海道教育大学	<p>&lt;函館幼稚園&gt;          令和7年度から附属函館幼稚園における入園児の募集を停止することを決定した。          【今後のスケジュール】          ・令和7年度から3歳児募集停止          ・令和8年度から4歳児募集停止</p>
---------	--

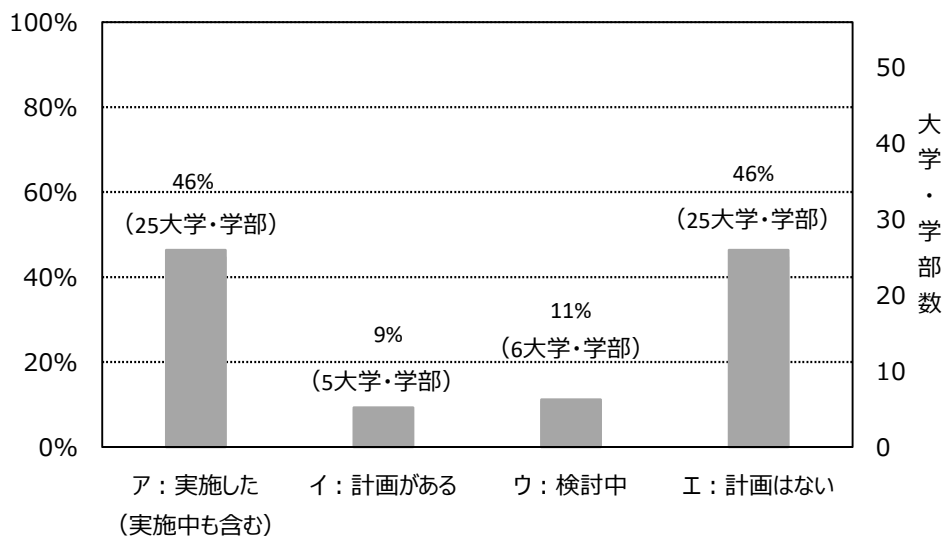
ウ：検討中の6大学・学部、及びその内容

筑波大学	令和2年度より、附属特別支援学校群の将来構想として、校数の削減や各校の機能の統合・再編等の検討を始めている。
横浜国立大学 教育学部	現時点では具体的な計画はないが、将来構想の中で検討する必要があると考えている。
大阪教育大学	現時点では具体的な計画はないが、将来構想の中で検討することになると考えている。
和歌山大学教育学部	附属小中学校は、同一敷地内だが、附属特別支援学校が約3km離れた場所にある。特別支援学校への入学や特別支援学級への入級希望、さらには特別支援教育の必要性が高まっている中、附属特別支援学校の移設を含めて附属学校のあり方について検討を始めたところだ。ただし、現時点では具体的な計画立案には至っていない。
広島大学	学内の附属学校園の機能強化を検討する会議の中で統廃合に関しても検討している。
香川大学教育学部	現時点では具体的な計画はないが、学内の附属学校園の機能強化を検討する会議の中で、統廃合に関して俎上に上がっている。



## 2 法人化後の附属学校園の学級減の実施

法人化後の附属学校の学級減の実施



ア：実施した（実施中も含む）25大学・学部、及びその内容

弘前大学教育学部	<附幼>	平成24年度まで3歳児1学級20名、4歳児2学級70名及び5歳児2学級70名の定員としていたが、平成27年度から完全3年保育（3歳児2学級30名、4歳児1学級30名及び5歳児1学級30名）とするため、平成25年度から定員の学年進行を行った。この過程において、平成25年度に3歳児2学級30名、4歳児1学級30名、5歳児2学級70名とし、平成26年度から3歳児2学級30名、4歳児1学級30名、5歳児1学級30名の定員で、1学級減となった。
	<附小>	附属小学校の単式学級数を3学級から2学級へ削減した。（令和3年度～）
	<附中>	附属中学校の学級数を5学級から4学級へ削減した。（令和3年度～）
岩手大学教育学部	<附幼>	令和5年度、4歳児学級を1学級削減した。また、学年進行により令和6年度に5歳児学級を1学級削減する。
秋田大学 教育文化学部	<附幼>	完全3年保育への移行のため5学級から4学級へ減。（平成28年度～）
山形大学	<附幼>	4歳児2学級→1学級に減。（平成22年度） 5歳児2学級→1学級に減。（平成23年度） 3歳児2学級→1学級に減。（令和5年度）
	<附小>	1・2年複式学級1学級を閉級。（平成22年度） 5・6年複式学級1学級を閉級。（平成26年度） 3・4年複式学級1学級を閉級。（令和5年度）
福島大学	<附小>	平成20年度から、24クラスから順次年ごと1クラス減し、平成23年度に20クラスとなった。

筑波大学	<特支>	筑波大学附属聴覚特別支援学校の幼稚部の学級数を平成29年度入学より1学年3学級から1学年2学級に縮小。 筑波大学附属桐が丘特別支援学校小学部を11学級から6学級、本校中学部を7学級から6学級に減らし、施設併設学級中学部を2学級から3学級に増やした。全体では5学級減となった。(令和3年度) 筑波大学附属視覚特別支援学校高等部専攻科鍼灸手技療法研修科が廃科。(令和5年度)
群馬大学 共同教育学部	<附小>	それまで1学年4クラスだったところを、平成22年度に入学した学年から、1学年3クラスになるようにした。
千葉大学教育学部	<附小>	平成16年4月に1年生の学級数を4学級から3学級とし、学年進行により平成21年4月に全学年3学級となった。
	<附中>	生徒数は、平成17年度入学の1年生から順次減らし、平成19年度に各学年5クラス(計15クラス)を各学年4クラス(計12クラス)に一斉に変更した。
東京学芸大学	<附小>	附属学校に求められている、国の教育政策の推進に寄与する「拠点校」としての役割、地域の教育の「モデル校」としての役割を追求していくため、附属小金井小学校の入学定員の見直し(1学年児童数160人→120人(40人減:1学級減))を行い、弾力的なクラス編成や教科内容に応じた少人数指導の実施等、教員を柔軟に配置し、児童にキメ細かい指導を行う体制を構築するため、平成22年度から学年進行により実施。
山梨大学教育学部	<附幼>	平成16年度に教員削減のため、附属幼稚の学級1・教員1名の減。
金沢大学 人間社会学域 学校教育学類	<附幼>	令和4年度に2学級あった4歳児学級を令和5年度に1学級削減し1学級とした。 ※参考 令和5年度に満3歳児学級を1学級(定員6名)新設した。
	<附小>	日本語適応教室「さくら」(定員4名)を新設。(令和4年度～)
信州大学教育学部	<附幼>	附属幼稚園で平成30年度1学級減(内訳:年中1学級30名減とし、年少30人学級を15人2学級とした)、令和元年度1学級減(内訳:年長1学級減)とした。
	<附中>	附属長野中学校で3年間、附属長野小学校で6年間かけて、学級をそれぞれ1学級減とした。(平成20年度～)
岐阜大学教育学部	<義務教育 学校>	令和2年度から義務教育学校(附属小中学校)となり、併せて新7年生以降の学級数を順次3学級にすることとした。学年進行により、令和4年度は9年生が4学級から3学級となり、7年生・8年生・9年生ともに3学級となった。
愛知教育大学	<附小>	【附属名古屋小学校】平成30年度入学の学年から普通学級の学級数を1学年「3または4学級」から「3学級」とした。また、令和2年度から4年生の帰国子女学級の募集を停止した。
	<附高>	【附属高等学校】令和3年度入学者より、それまでの1学年5学級編成を1学年4学級編成とした。

三重大学教育学部	<附幼>	附属幼稚園では、令和3年度は3歳児1クラス・4歳児2クラス・5歳児2クラスの計5クラスであったが、令和4年度に3歳児2クラス・4歳児1クラス・5歳児2クラスの計5クラス、令和5年度より3歳児2クラス・4歳児1クラス・5歳児1クラスの計4クラスとなった。
京都教育大学	<附幼>	附属幼稚園 令和3年度まで 3歳児1学級、4歳児2学級、5歳児2学級 計5学級 令和4年度から 3歳児・4歳児・5歳児各1学級 計3学級 (令和4年度は学年進行のため、3歳児1学級、4歳児1学級、5歳児2学級 計4学級) 学年進行で令和5年度完成
	<附高>	附属高等学校 令和2年度から 入学定員：200人→160人、学級数：5→4 (入学者数の減により、令和元年度の限定措置として、定員を変更せず1年生を4学級とした。) 学年進行で令和4年度完成
神戸大学	<附小>	小学校2校33学級を小学校1校12学級に、中学校2校21学級を中等教育学校1校18学級に再編（平成21年度～）
和歌山大学教育学部	<附小>	附属小学校において、令和2年度より新入学の第1学年の単式学級を2学級（令和元年度までは3学級）とし、年次進行に伴って、1学年あたりの単式の学級数を2学級へと順次削減している。これにより、現在小学1、2、3、4、5年生の単式学級数が2学級、6年生が3学級の編成となっている。
鳥取大学	<附幼>	平成25年度：学級数5学級→4学級に変更（全定員数90人）、平成24年度：学級数6学級→5学級に変更（全定員数130人） (令和元年度：入園児数の減により令和元年度の限定措置として、4学級を3学級としたが定員数は変更なし（全定員数90人）)
島根大学教育学部	<附幼>	平成30年度に4歳児学級の募集を2クラスから1クラスに削減した。そのため平成30年度は4歳児学級が1クラス、5歳児学級が2クラス、平成31年度に各学年が1クラスとなった。
岡山大学教育学部	<附小>	3学級+複式1学級 → 3学級（平成21年度～）
広島大学	<附幼>	平成27年度から三原幼稚園の4、5歳児の学級数を2から1へ削減した。
福岡教育大学	<附小>	附属小倉小学校1学年は少人数学級実施のため平成18年度から3学級編成としていた。しかし教室は、本来2学級分のスペースを3学級に間仕切りして使用しているため、児童間のスペースが狭いうえ、十分な換気が期待できない状況であった。新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインを順守するため、本来の2学級編成に戻した。（令和3年度～）
長崎大学教育学部	<附幼>	令和3年度園児募集分から募集定員を縮減し、令和4年度に1学級削減し、4学級制（3歳児：2クラス、4・5歳児：各1クラス）とした。具体的には、令和2年度までは3歳児1クラス、4歳児及び5歳児各2クラスの計5クラスであったが、令和3年度に3歳児2クラス、4歳児1クラス、5歳児2クラスの計5クラスとし、令和4年度に3歳児2クラス、4歳児・5歳児各1クラスの計4クラスとした。
	<附中>	平成21年度から、1学年の学級数を5クラスから4クラスに減らし、学年進行で平成23年度には1～3学年で学級数はすべて4クラスになった。
鹿児島大学教育学部	<附小>	令和3年度から1学級減。

イ：計画がある5大学・学部、及びその内容

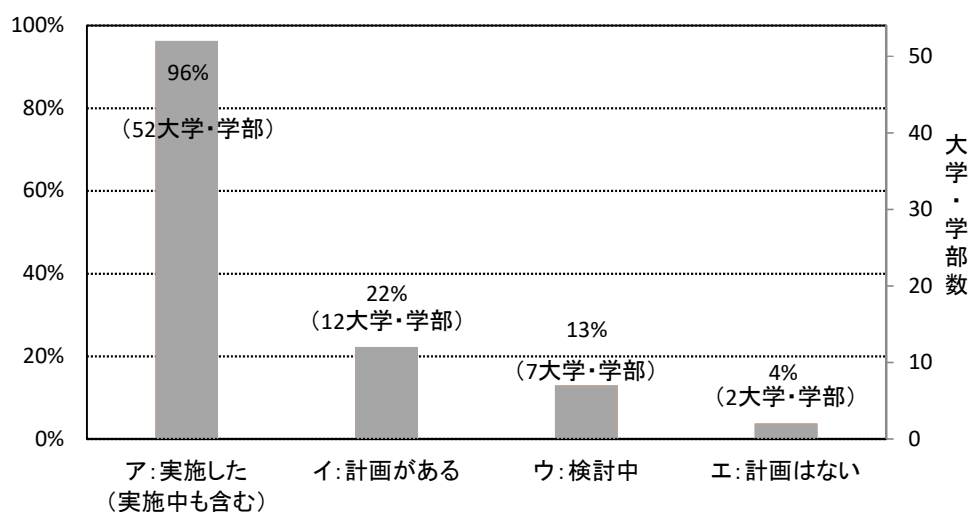
岩手大学教育学部	<附小>	令和8年度に低学年の複式学級を廃止する。 また、令和9年度から3年生以上の通常学級を学年進行により1学級削減する。
	<附中>	令和13年度に1年生を1学級削減し、以降学年進行により2年生以上も順次1学級削減する。
筑波大学	<特支>	令和6年度に、筑波大学附属視覚特別支援学校高等部専攻科音楽科が廃科予定。 令和7年度に、筑波大学附属聴覚特別支援学校高等部専攻科歯科技工科が配架予定。
金沢大学 人間社会学域 学校教育学類	<附幼>	現在の5学級体制を令和6年度に1学級削減し、4学級体制（満3歳児、3歳児、4歳児、5歳児 各1学級）に変更する予定。
	<附小>	現在2学級の複式学校を令和6年度に1学級削減し1学級とする予定。
三重大学教育学部	<附小>	附属小学校では、令和10年度に5年生を3クラスから2クラスに、令和11年度に6年生を3クラスから2クラスとする計画がある。
京都教育大学	<附中>	（附属桃山中学校）令和6年度より帰国生徒教育学級を廃止予定のため、学年進行で1学級づつ減らす計画がある。

ウ：検討中の6大学・学部、及びその内容

宮城教育大学	有識者会議報告を受けて全体的に規模縮小の可能性について検討中だが、まだ公表できるような内容にはなっていない。
筑波大学	令和2年度より、附属特別支援学校群の将来構想として、各校各部の学級数の削減の検討を開始した。
宇都宮大学 共同教育学部	検討中
大阪教育大学	令和4年度開始に向けて学級減を検討していたが、諸事情により保留することになった。
広島大学	学内の附属学校園の機能強化を検討する会議の中で学級減に関しても検討している。
山口大学教育学部	附属幼稚園（検討を始めた）

### 3 法人化後の附属学校園の学級定員減の実施

法人化後の附属学校園の学級定員減の実施



ア：実施した（実施中も含む）52大学・学部、及びその内容

北海道教育大学	<附幼>	附属幼稚園の保育内容を質・量ともに充実する見直しを行うとともに、きめ細やかな指導実現のため、附属旭川幼稚園（学級数3）及び附属函館幼稚園（学級数3）の4歳児の定員を10名、5歳児の定員を10名削減した。（総定員数としては180名から140名となった）（平成29年度～）
	<附小>	・附属小学校（札幌、旭川、釧路、函館の4校）については、平成24年度から、1学級あたりの定員を35名としている。（※釧路校はR3年度から釧路義務教育学校）
	<附中>	・附属中学校（札幌、旭川、釧路、函館の4校）については、平成26年度から、1学級あたりの定員を35名としている。（※釧路校はR3年度から釧路義務教育学校）
弘前大学教育学部	<附小>	附属小学校では、平成24年度から第1学年の単式学級の定員を、1学級40名から33名とした。 令和3年度から附属小学校の単式学級定員を33名から32名へ削減した。
	<附中>	附属中学校では、平成27年度から第1学年の学級の定員を、1学級40名から33名とした。 令和3年度から附属中学校の学級定員を33名から32名へ削減した。

岩手大学教育学部	<附幼>	4歳児及び5歳児の学級定員を、平成25年度から学年進行で35名から24名に削減した。
	<附小>	通常学級定員を、平成24年度から学年進行で40名から32名に削減した。
	<附中>	附属中学校の学級定数を、平成30年度から学年進行で40名から35名に削減した。
宮城教育大学	<附小>	学級定員数を36人→30人に減。(平成24年度第1学年から順次学年進行により平成29年度完成)
秋田大学 教育文化学部	<附幼>	(平成27年度～) 3歳児20名から16名(20名1学級⇒16名2学級)、4歳児35名から32名(35名2学級⇒32名1学級)、5歳児35名から32名。(35名2学級⇒32名1学級)
	<附小>	(平成24年度～) 平成24年度定員40名3学級⇒定員35名3学級 (平成27年度～) 定員32名3学級
	<附中>	(平成30年度～) 定員40名4学級⇒定員36名4学級 (令和3年度～) 定員32名4学級
山形大学	<附小>	40名→34名(平成22年度から学年進行/平成27年度完成) 1学級34名→28名に減(令和5年度から学年進行で令和10年度まで順次実施)
	<附中>	40名→34名(平成28年度から学年進行/平成30年度完成)
福島大学	<附小>	120名→105名(40→35人対応)(平成24年度から)
	<附中>	160名→140名(40→35人対応)(平成24年度から)
茨城大学教育学部	<附中>	附属中学校の学級定員数を40名から36名に削減した。(平成30年度から)
筑波大学	<附小>	筑波大学附属小学校の学級定員数を学年進行で1学級40名から1学級32名に縮小。 平成31年度入学において全学年が1学級32名となった。(平成26年度から)
	<特支>	筑波大学附属視覚特別支援学校高等部専攻科音楽科の廃科に伴う募集停止により、令和5年度から定員減(R4:16名→R5:8名)。 筑波大学附属聴覚特別支援学校高等部専攻科歯科技工科の廃科に伴う募集停止により、令和5年度から定員減(R4:30名→R5:20名→R6:10名)。
宇都宮大学 共同教育学部	<附小>	平成24年4月に1年生の学級定員を40名から35名とし、学年進行により平成29年4月に全学級35名定員となった。
	<附中>	平成30年4月に1年生の学級定員を40名から36名とし、学年進行により令和2年4月に全学級36名定員となった。

群馬大学 共同教育学部	<附幼>	平成22年度より、3、4歳児の学級定員を28名とし、平成23年度から全学級28名定員となった。 令和5年度より3歳児を1学級28名から2学級40名へ変更し、以降年度進行で全学年2学級で40名とした。
	<附小>	平成24年度からそれまで1クラスの定員が40名だったところを、平成24年度に入学した学年から、定員を35名に削減した。
	<附中>	平成28年度から定員40名から35名(1学年) : 平成29年度定員40名から35名(1・2学年) : 平成30年度定員40名から35名(1・2・3学年)
埼玉大学教育学部	<附幼>	附属幼稚園の4歳児学級定員数を35名から30名に削減した。 (平成25年度から) 令和4年度以前 : 3歳児クラス20名、4歳児クラス30名、5歳児クラス30名 令和5年度 : 3歳児クラス22名、4歳児クラス28名、5歳児クラス30名 令和6年度以降 : 3歳児クラス22名、4歳児クラス28名、5歳児クラス28名(予定)
	<附小>	附属小学校の学級定員数を40名から35名に削減した。 (平成25年度入学生から)
	<附中>	附属中学校の学級定員数を40名から35名に削減した。 (令和元年度入学生から)
千葉大学教育学部	<附幼>	平成25年度以前は3歳児から5歳児全園児のトータルの定員が160名だったが、平成25年度新入園児から徐々に定員を減らし、各クラス28名とした。平成27年度から、全クラス28名になり、トータルの園児数が140名になった。
	<附小>	平成24年4月に1年生の定員を40名から35名とし、学年進行により平成29年4月に全学級35名定員となった。
	<附中>	平成25年度から各学級の定員を43名から38名(一般生40名+帰国生3名から一般生35名+帰国生3名)としている。
東京学芸大学	<附小>	平成23年度から実施された公立小学校1年生の学級定員35名化を受け、本学の各附属小学校も平成24年度から学年進行で学級定員の35名化を進めてきた。平成29年度には附属小学校全学年で学級定員が35名となった。平成30年度から附属中学校へ進学するのに合わせ学年進行で附属3中学校の学級定員も35名に減らし、小中連携の一層の推進を可能とし、細やかな指導を実現するもの。
お茶の水女子大学	<附幼>	平成24年度から附属幼稚園の4歳児入園定員を10人削減の60人とした。
	<附小>	平成24年度から附属小学校の入学定員を15人削減の105人(3クラス×35人)とした。
	<附中>	平成24年度から平成30年度までに附属中学校の入学定員を段階的に15人削減の105人(3クラス×35人)とした。

横浜国立大学 教育学部	<附小>	令和5年度より横浜小学校の学級編成の基準の引き下げ（40人から35人）に伴い、入学定員及び帰国児童募集を以下のとおり改定した。 ①入学定員を105名から100名に改訂。 ②帰国子女の入学定員を15名（4学年より）から5名（3学年より）に改訂。
	<附中>	鎌倉中学校、横浜中学校について、令和元年度入学生から1学級当たりの定員を40人から35人とした。（帰国生徒定員1学年15人は変更なし。）
山梨大学教育学部	<附小>	平成24年度入学児童から、附属小学校定員を120名から105名に変更。（1クラス35名）
	<附中>	令和元年度入学生徒から、附属中学校定員を160名から144名に変更。（1クラス36名）
新潟大学	<附小>	平成23年4月に「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の一部が改正され、公立小学校第1学年の学級編制の標準が40人から35人に引き下げられた。それに準じて、本学においても、きめ細かで質の高い教育の実現に資するため、平成24年度から小学校第1学年の学級定員を35人に引き下げ、平成29年度には、小学校全学年学級定員数35人を実現した。
上越教育大学	<附幼>	平成24年度から4歳児1学級を35人から30人に、平成25年度から5歳児1学級を35人から30人に引き下げた。 平成30年度から学年進行で3、4、5歳児ともに24人定員に引き下げた。
	<附小>	平成24年度から学年進行で1学級40人から35人に引き下げた。
	<附中>	平成30年度から学年進行で1学級40人から35人に引き下げた。
富山大学教育学部	<附小>	平成24年度から学年進行により、附属小学校の学級定員を1学年40人から35人とした。
金沢大学 人間社会学域 学校教育学類	<附幼>	平成28年度 3歳児 20名⇒24名、4歳児 70名⇒48名 平成29年度 5歳児 70名⇒48名 令和4年度に48人だった4歳児学級の定員を令和5年度に24人とした。 ※参考 令和5年度に満3歳児学級を1学級（定員6人）新設した。
	<附小>	平成24年度 1年生 120名⇒105名 平成27年度 2年生、3年生、4年生 40名⇒35名 3年生、4年生の複式学級 40名⇒12名 平成28年度 5年生 40名⇒39名 平成29年度 6年生 40名⇒39名 令和4年度 1年クラス定員35⇒30名に削減、日本語適応教室「さくら」（定員4名）を新設。 令和4年度に12人だった複式学級第3学年の定員を令和5年度に6人とした。 ※参考 令和5年度に日本語適応教室「さくら」について定員4人から8人に変更した。



福井大学教育学部	<義務教育学校>	平成30年度附属義務教育学校後期課程・7年生について、40名×3クラスから35名×3クラスへの定員減を実施した。 令和元年度（平成31年度）附属義務教育学校後期課程・8年生について、40名×3クラスから35名×3クラスへの定員減を実施した。 令和2年度附属義務教育学校後期課程・9年生について、40名×3クラスから35名×3クラスへの定員減を実施した。
信州大学教育学部	<附小>	平成24年度から附属松本小学校において1学級定員を40人から35人へ減じた。また、平成25年度から附属長野小学校も同様に40人から35人へ減じた。両校とも総定員は420名となった。
岐阜大学教育学部	<附小>	平成24年度から学級編制35人に対応するため、小学校新1年生の学級定員数を順次35名にした。
	<義務教育学校>	令和2年度から義務教育学校（附属小中学校）の新1年生学級定員数を32名、新7年生学級定員数を35名とした。
静岡大学教育学部	<附小>	静岡小学校、浜松小学校について、平成24年度入学生から1学級当たりの定員を40人から35人とした。
	<附中>	静岡中学校、浜松中学校、島田中学校について、平成30年度入学生から1学級当たりの定員を40人から36人とした。
愛知教育大学	<附幼>	平成23年度まで4歳児・5歳児ともに1学級35名だったところを、平成24年度から4歳児1学級30名に、平成25年度から5歳児1学級30名に、平成30年度から4歳児1学級25名に、令和元年度から5歳児1学級25名とした。
	<附小>	【附属名古屋小学校（普通学級）】及び【附属岡崎小学校】平成23年度まで1学級40名だったところを、平成24年度入学の学年から1学級35名に、令和元年度入学の学年から1学級30名とした。
	<附中>	【附属名古屋中学校（普通学級）】及び【附属岡崎中学校】1学級40名だったところを、平成30年度入学の学年から1学級36名とした。
	<附高>	1学級40名だったところを、令和3年度入学の学年から1学級30名とした。
三重大学教育学部	<附幼>	平成26年度より5歳児クラス、4歳児クラスともに定員35名から30名に減じた。また令和3年度は3歳児クラスの定員は20名であったが、令和4年度より1クラス定員15名に減じ、2クラスとした。
滋賀大学教育学部	<附幼>	平成30年度：4歳児64人→48人 令和元年度：5歳児64人→48人
	<附小>	平成24年度：40人→35人
	<附中>	平成30年度：40人→36人

京都教育大学	<附幼>	<p>附属幼稚園  平成28年度から 4歳児・5歳児学級：35名×2クラス→30名×2クラス  学年定員：70名→60名  令和4年度から 3歳児学級：20名×1クラス→32名×1クラス、  4歳児・5歳児学級：30名×2クラス→32名×1クラス  学年定員：3歳児学級：20名→32名、4歳児・5歳児学級：60名→32名  学年進行で令和5年度完成  （令和4年度は学年進行のため、3歳児20名×1クラス、4歳児32名×1クラス、5歳児30名×2クラス 合計112名）</p>
	<附小>	<p>附属桃山小学校  平成24年度から 学級定員：40名→35名 学年定員：80名→70名  学年進行で平成29年度完成</p>
	<義務教育学校>	<p>附属京都小学校 [平成28年度まで]  平成24年度から 普通学級定員：40名→30名 学年定員：120名→90名  平成25年度から 普通学級定員：30名→32名 学年定員：90名→96名  附属京都中学校 [平成28年度まで]  平成26年度から 普通学級定員：40名→32名 学年定員：120名→96名  小中一貫に伴い、普通学級外部入試の廃止。  学年進行で平成28年度完成  附属京都小中学校 [平成29年4月1日に附属京都小学校と附属京都中学校とを統合改組し、義務教育学校となった。]  附属京都小学校が平成25年度から進めていた前期課程の学級定員変更が、学年進行で平成30年度完成。</p>
大阪教育大学	<附小>	平成24年度入学生から、小学校の学級定員減（40人→35人）を実施した。
	<附中>	平成30年度入学生から、中学校の学級定員減（40人→36人）を実施した。
兵庫教育大学	<附幼>	<p>令和5年度から学級定員数を学年進行で以下のとおり変更をした。  令和5年4月以前 60名（30名×2クラス×1学年（4、5歳児））  令和5年4月から 40名（20名×2クラス×1学年（3歳児））  40名（20名×2クラス×1学年（4、5歳児））</p>
	<附小>	<p>令和5年度から学級定員数を学年進行で以下のとおり変更をした。  令和5年度以前 105名（35名×3クラス）、5学年  令和5年度から 75名（25名×3クラス）、1学年</p>
	<附中>	<p>令和5年度から学級定員数を学年進行で以下のとおり変更をした。  令和5年度以前 120名（40名×3クラス）、2学年  令和5年度から 90名（30名×3クラス）、1学年</p>
神戸大学	<附幼>	27年度より、幼稚園において学年進行で20人学級を実施。（25人からの定員減）
	<附小>	25年度より、小学校において学年進行で35人学級を実施。（40人からの定員減）

奈良教育大学	<附幼>	平成30年度から、定員を以下のとおり改定した。 3歳児24名、4歳児30名（2クラス）、5歳児30名（2クラス）を3歳児24名、4歳児24名（2クラス）、5歳児24名（2クラス）に改定 附属幼稚園がR3年度から以下のとおり順次学級定員を変更している（完成年度：R5年度）。 R3年度定員102人：3歳児15人×2クラス、4歳児24人×1クラス、5歳児24人×2クラス R4年度定員99人：満3歳児15人×1クラス、3歳児15人×2クラス、4歳児30人×1クラス、5歳児24人×1クラス R5年度（完成時）定員105人：満3歳児15人×1クラス、3歳児15人×2クラス、4歳児30人×1クラス、5歳児30人×1クラス
	<附中>	平成30年度から、定員を以下のとおり改定した。 通常学級1学年160名（40名×4クラス）を1学年136名（34名×4クラス）に改定
奈良女子大学	<附幼>	平成27年度から、附属幼稚園において2年保育の募集を停止し、3年保育のみの募集とし、学級定員を30名から24名に減員した。
	<附小>	平成24年度から附属小学校の学級定員を40名から35名にした。
和歌山大学教育学部	<附小>	平成24年度に全学年で1クラスの児童数が30人となった。
	<附中>	平成27年度に全学年で1クラスの生徒数が35人となった。
鳥取大学	<附幼>	平成23年度：附属幼稚園の3歳児1学級定員20人→2学級30人に変更（全定員数170人）、平成24年度4歳児2学級70人→1学級30人に変更。
	<附小>	平成24年度：附属小学校の1年生1学級定員を40人から35人に変更。（全定員数：平成23年度480人→平成26年度420人）
	<附中>	平成26年度：附属中学校の1年生1学級定員を40人から35人へ変更。（全定員数：平成25年度480人→平成28年度420人）
	<特支>	平成18年度：附属特別支援学校の高等部専攻科新設（定員6人）に伴い、小学部3学級18人→2学級12人に変更。（全定員数変更なし） 令和2年度：全体の総定員（60人）は変更ないが、高等部本科の入学定員を8人→6人（本科定員24人→18人）に、高等部専攻科3人→6人（専攻科定員6人→12人）に変更。
島根大学教育学部	<附幼>	平成30年度に学級定員を20名2クラスから25名1クラスに削減した。
	<義務教育学校>	令和元年度に7年生の募集人数をそれまでの学級数は4のまま変えず、1学級35名から1学級30名に削減した。
岡山大学教育学部	<附幼>	H21年度32人→24人
	<附小>	H21年度40人→36人、H24年度36人→35人
	<附中>	H27年度40人→36人

広島大学	<附幼>	平成27年度から附属幼稚園の4、5歳児の定員を35名から30名に削減した。同じく三原幼稚園の4、5歳児の定員を70名から30名に削減した。
	<附小>	平成24年度から広島大学附属小学校、広島大学附属東雲小学校、広島大学附属三原小学校の第1学年の単式学級を1学級32人とし、順次学年進行を行った。
山口大学教育学部	<附幼>	附属幼稚園では平成27年度より、きめ細かな保育を可能とするため、4・5歳児の学級定員数を35名から25名にした。
	<附小>	附属山口小学校と附属光小学校では平成24年度より、学級定員数を40名から公立学校の学級定員数に合わせて35名にした。
	<附中>	附属山口中学校では平成24年度より、附属光中学校では平成25年度より、学級定員数を40名から公立学校の学級定員数に合わせて35名にした。
鳴門教育大学	<附幼>	平成24年度 30人→26人
	<附小>	平成24年度 120人→102人
	<附中>	平成30年度 160人→136人
香川大学教育学部	<附幼>	平成24年度から 附属幼稚園 3歳児定員を20名→18名、4歳児及び5歳児定員を35名→30名 幼稚園高松園舎の4歳児及び5歳児定員を35名→30名
	<附小>	平成24年度から高松小学校と坂出小学校の学級定員を40名→35名
	<附中>	平成30年度から高松中学校及び坂出中学校の学級定員を40名→35名
愛媛大学教育学部	<附幼>	○平成24年度まで 3歳児定員20人(20人×1学級)、4歳児定員70人(35人×2学級)及び5歳児定員70人(35人×2学級)の計160人定員。 ○平成25年度(移行期間) 学級数及び学級定員の見直しを行い、3歳児定員48人(24人×2学級)、4歳児定員48人(24人×2学級)及び5歳児定員70人(35人×2学級)の計166人定員。 ○平成26年度以降 学年進行が完了し、3歳児、4歳児及び5歳児の全てを定員48人(24人×2学級)の計144人へ定員減。
	<附小>	平成24年度より、定員120人(40人×3学級)から定員96人(32人×3学級)へ定員減。
	<附中>	平成30年度より、定員160人(40人×4学級)から定員128人(32人×4学級)へ定員減。

高知大学教育学部	<附幼>	平成28年度から幼稚園で、160名(3歳児1学級20名、4歳児2学級70名、5歳児2学級70名)から124名(3歳児1学級28名、4歳児2学級48名、5歳児2学級48名)に定員減を段階的に実施。
	<附小・中>	平成24年度から小学校・中学校で、1クラス40名から35名に定数減を実施。
福岡教育大学	<附小>	「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の改正により小学校第1学年の1学級の児童の数の標準が改正されたことに伴い、平成24年度新入生より本学附属福岡小学校、小倉小学校及び久留米小学校の1学級の児童数の標準を従来の40人から35人への変更を行った。
佐賀大学教育学部	<附小・中>	附属中学校の学級定員を40名から36名に平成30年度から削減。この削減は主として平成24年度から実施した附属小学校の35人学級が平成29年度に全学年35人体制となることに伴って実施。
長崎大学教育学部	<附幼>	令和3年度園児募集分から募集定員を縮減した。具体的には、令和2年度までは3歳児1クラス20名、4歳児2クラス60名及び5歳児2クラス60名の計140名であったが、令和3年度に3歳児2クラス32名、4歳児1クラス32名、5歳児2クラス60名の計124名とし、令和4年度に3歳児2クラス32名、4歳児1クラス32名、5歳児1クラス32名の計96名とした。
	<附小>	平成21年度より、1学級の定員を40名から30名に変更した。 令和5年度より、1年生の定員は複式学級で8名から6名、単式学級で30名から26名の3クラスの計84名となった。
熊本大学教育学部	<附幼>	附属幼稚園について、3歳児の入園希望者は過去5年間減少しておらず、増加傾向にある。今後も3年保育を希望する家庭は多く、3歳児受験者数は安定して確保されている。また、その一方で、4歳児クラスの入園希望者(受験者)は平成22年度を境に減少傾向にある。3年次保育が主流となった現在、3歳児で本園に合格しなかった家庭は他園に入園させるため、4歳児の受験は今後も少ないことが予想される。縮小の内容は、平成29年度から3カ年かけて定員を160名(平成28年度)から140名(令和元年度)に変更する計画を立てて実施してきた。本計画は、令和元年度に完成年度(改定3年目)を迎え完了した。令和元年度以降の附属幼稚園の定員管理は、3年保育90名(3、4、5歳各30名)、2年保育50名(4、5歳各25名)の合計140名となった。今後の学級定員管理の変更について、いずれの附属学校園においても特に計画はない。
大分大学教育学部	<附幼>	平成29年度から幼稚園3歳児1学級32人定員、4歳児(2学級)1学級28人定員、5歳児(2学級)1学級28人定員とした。
	<附小>	平成24年度から小学校1学級35人定員とした。

宮崎大学教育学部	<附幼>	附属幼稚園の入学定員を平成25年度から2年保育32人に減らした(それまでは50人)。 附属幼稚園の入学定員を平成28年度から2年保育20人に減らし(それまでは32人)、3年保育28人に増やした(それまでは20人)。
	<附小>	附属小学校の入学定員を平成24年度から105人に減らした(それまでは120人)。 (令和5年度から) 通常学級 1学級35人から32人へ変更した。 (入学定員を105人から96人へ変更) 特別支援学級 入学定員を4人から2人へ変更した。
	<附中>	(令和5年度から) 通常学級 1学級40人から36人へ変更した。 (入学定員を160人から144人へ変更) 特別支援学級 入学定員を8人から4人へ変更した。
鹿児島大学教育学部	<附小>	平成24年度から実施済み。
	<附中>	平成30年度から入学定員を20人削減。
琉球大学教育学部	<附小>	附属小学校の募集定員を平成24年度から120名から105名とした。
	<附中>	附属中学校において、令和3年度入学生より入学者数を144名(▲16名)とし、1学級36名(▲4名)に変更した。

イ：計画がある12大学・学部、及びその内容

岩手大学教育学部	<附小>	令和7年度に1年生の通常学級定員を32名から24名に削減し、令和8年度に2年生の通常学級定員を32名から24名に削減する。(令和8年度の低学年複式学級廃止に連動する削減のため、令和8年度の2年生をもって学級定員削減完了。)
宇都宮大学 共同教育学部	<附幼>	令和6年4月に4歳児の学級定員を32名から24名とし、学年進行により令和7年4月に5歳児の学級定員も32名から24名とする計画である。
千葉大学教育学部	<附小>	令和6年4月に1年生の定員を35名から28名とし、学年進行により令和11年4月に全学級28名定員とする計画である。
	<附中>	令和6年度入学の1年生から各学級の定員を38名(一般生35名+帰国生3名)から、定員32名(一般生29名+帰国生3名)に順次減らしていく予定である。
山梨大学教育学部	<附幼>	令和6年度から入学定員を35人から28人へ変更。
	<附小>	令和6年度入学児童から、附属小学校定員を105名から90名に変更。(1クラス30名)

金沢大学 人間社会学域 学校教育学類	<附幼>	令和3年度の定員120人を段階的に削減し令和6年度に84人とする予定。
	<附小>	令和3年度の定員678人を段階的に削減し、令和9年に572人とする予定。
愛知教育大学	<附中>	【附属名古屋中学校（普通学級）】及び【附属岡崎中学校】現在の1学級36名を、令和7年度入学の学年から1学級30名とする。
三重大学教育学部	<附小>	学級定員を令和6年度から令和9年度まで学年進行で35名から24名とする計画がある。
京都教育大学	<附小>	附属桃山小学校：35名×2学級を令和6年度より学年進行で30名×2学級とする計画がある。
	<附中>	附属桃山中学校：普通学級40名×3学級を令和6年度より学年進行で32名×3学級とする計画がある。
和歌山大学教育学部	<附中>	令和7年度より附属中学校では、附属小学校の学級減に伴って児童数が減少することから、それに応じて附属中学校の1学級あたりの生徒数を30名とする。現在は1学級35名である。
岡山大学教育学部	<附幼>	令和6年度より1学級24人から18人とする。
	<附小>	令和7年度より1学級35人から28人とする。
	<附中>	令和13年度より1学級36人から32人に変更する。
長崎大学教育学部	<附中>	附属小学校の定員縮減に連動し、令和11年度から学年進行で段階的に学級定員を縮減する予定である。
宮崎大学教育学部	<附小・中>	学級数は、現在小学校複式3学級、中学校3学級だが、入学定員減の学年進行が完了する小学校にあたっては令和10年度、中学校にあたっては令和7年度以降複式2学級とする予定である。

ウ：検討中の7大学・学部、及びその内容

筑波大学	<特支>	令和2年度より、附属特別支援学校群の将来構想として、各校各部の定員の削減の検討を開始した。
新潟大学	<附幼>	以下のとおり、各学年の定員変更を検討中。 幼稚園35⇒20
	<附小>	各小学校35⇒32
	<附中>	各中学校40⇒35
福井大学教育学部	<附幼>	附属幼稚園の学級定員減を検討している。

信州大学教育学部	<附中>	附属長野中学校、附属松本中学校において、学級定員減（40名→35名）を検討している。
大阪教育大学		現時点では具体的な計画はないが、将来構想の中で検討することになると考えている。
広島大学		学内の附属学校園の機能強化を検討する会議の中で学級定員減に関しても検討している。
大分大学教育学部	<附幼>	少子化に伴い園児募集の募集定員縮減を検討中。（時期未定）
	<附小>	現在の35人学級を地域の学級編成の状況を踏まえ、適正規模に縮小することを検討中。（時期未定）
	<附中>	現在の40人学級を地域の学級編成の状況を踏まえ、適正規模に縮小することを検討中。（時期未定）